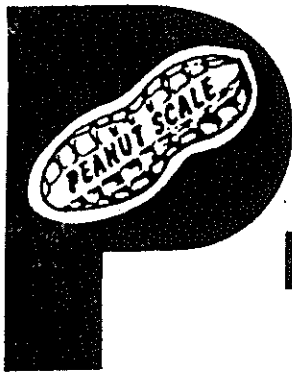


ひさしぶりに燃えてしまいました。
 飛ぶ、飛ぶはないは別にして、これは造形的に 仮か仮かの
 スケッチモノと言えてせう……
 よろしかったら おんこつとーぞ。

今、P-TECHの实用的な索引を検討中です。次号のヒコネ9
 くらいにはあるでしょうか (A42枚ほど)



PEANUT TECHNOLOGY

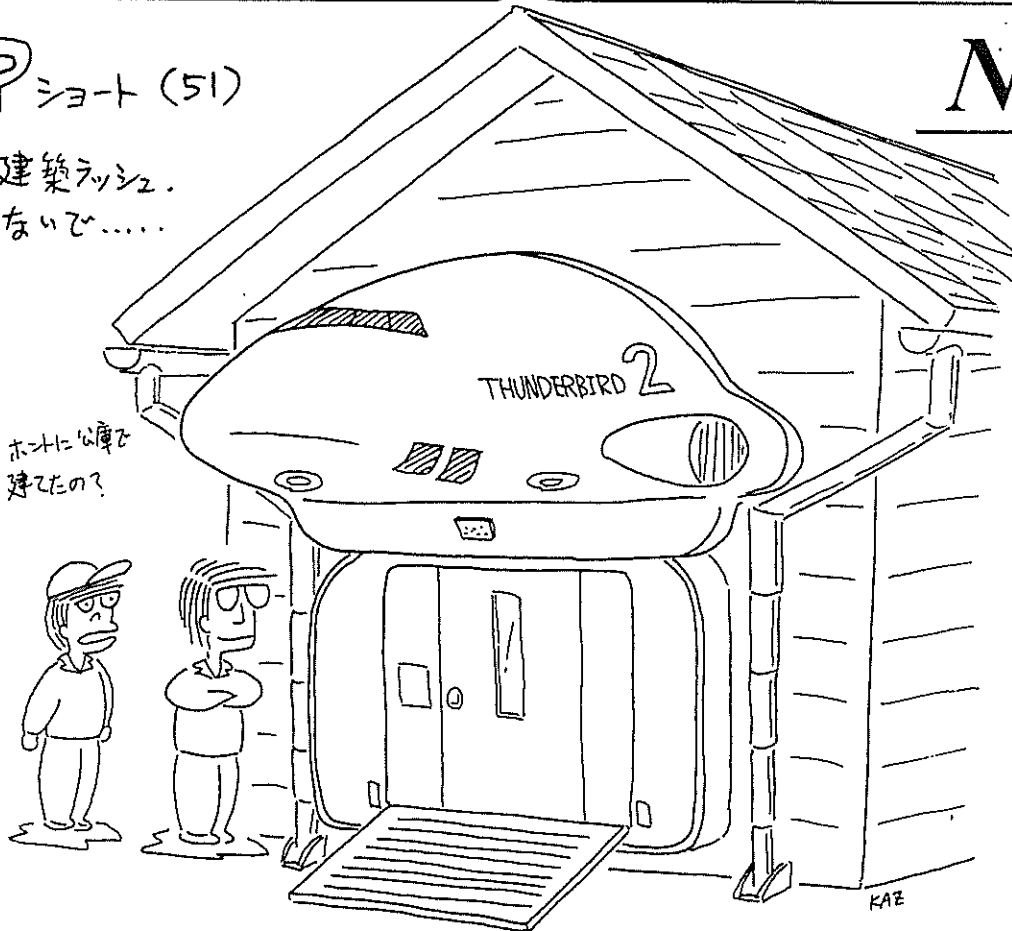
P-TECH

SPP ショート (51)

馬場山み建築ラッシュ。
 飛ば早まるないで……

NO.82

Hey Say 8.11



ホントに公庫を
 建てたの?

SHONAI PEANUT

サンダーバード・ア GO! GO!

あいあい、
またヒンシュクまで

KAZ

サンダーバード2号については去るNo.58(H4年11月)で「アタシヤ朽りますヨー」と言ってから
はや4年の歳日が流れてしまいました。
その後 胴体の骨組みまで作ってチラッと伊ネ神仏に見せたりした事もありましたが、やや重い目
だった事、アオペラ部が面倒くさい等から、いつのまにか部屋のオブジェと化しておりました。
ところが、今年の夏、タガメのワンメイクコンテストで、デザインで何かうけるものはないかとあれこれ
考えているうちに、ふと思いついたのがコレ。
今年のタガメはちょっとイマイチでしたが、ナンバーの貼り込み等のためにネタ本を見ているうち
にムクムクと製作意欲が復活して来たものです。

ものがたり

南太平洋にあるトレイシー島。そこでは実業家の父とその息子である5人の青年が優雅に
暮らしている。ところが、ひとたび救難信号をキャッチすると、その島は国際救助隊の
秘密基地としての正体を現かし、1号、2号を代表とする救助メカを発進させるのだ。

イマイ化学がサンダーバードシリーズのアラモを発売したのは昭和41年。大ヒットとなったのは42年に
入ってからであり、この時私はすでに中1にあって、サンダーバード・ブックとしては後期に
属すると思いますが、それでも2号のコンテナもシリーズでそろえたり、ジェットモグラを砂場に
つっこませたり、ひと通りのことはしました(1号~5号まで全部作った記憶あり)小供ヤネ……

TV放映の方は昭和40年頃から始まったと思いますが、たぶん毎週見ていた筈です。
とにかく発進シーンに代表されるメカの演出サービスの徹底ぶりには、その当時の子供
としては本当に刺激的、毎回が感動でした。

今のナントカレンジャーなんてのは唐突にメカが出て来て、またスッと去っていくものばかりでちょっと
味気ないですが、「サンダーバード」のあの、しつこい(らしい)のちわりは、小傑がどう見ても、なん
事はおまり深く考えてなかったのかも知れない様なところがあり、今でも何とか観賞に耐える
と言われるゆえんでしょう。

「サンダーバード」の中でも良く活躍するのは1号、2号ですが1号は偵察が主目的であり、救助
メカを積んで活動する2号が事実上の主役と言えるでしょう。

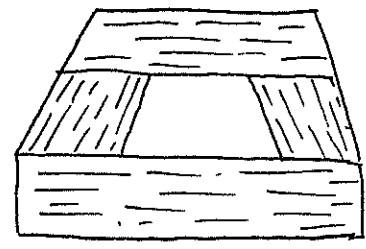
そのおんぐりとしたボディは人によっては不恰好だと思われるでしょうが、今回作った
ヤツを斜め前からしめじみながめるとまた造形美を感じさせるほどステキです
(アタだけよってか……)

製作糸痛

アタシヤモケイ屋の回し者ではありませんが、まずイマイの「TB-2 SPECIAL」(＠1200-)
を購入手に基本形を把握するのが良いかと思います(マーキングも判りますし)
それからビデオの2~3本でも借りて感情移入するのもいいでしょう。

- 1. F1~Fqまでの胴枠を切り出します。

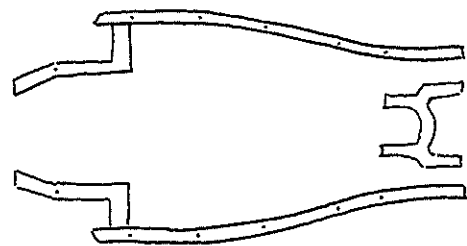
あらかじめ右図の様に木目に添って枠を作ってからカットする
うまく作れます。(t1, Cカット材, F1, F2のみt1.5)
Fqは木目を90度させて貼り合わせたもので作ります(2ヶ)



オマケ① 「ペネロフ」のイメージが特に強かったんで、がさつで、とんでもない
おしやべりの黒柳徹子が本当に許せない時期がありました……

2. 十文字の基準ストリンガーを作ります。

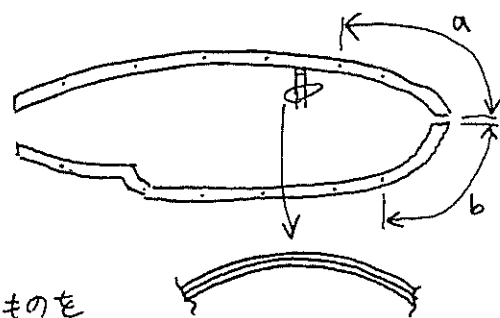
この時胴枠の束る所にマーキングをし、基本形を組み立てます。
この時、胴枠ねじれ、全体のねじれを十分に修正します。(特に直角度は重要)



▷基本ストリンガーはも2ミテアム・バルサを中1.2程度に切出してタテ長断面で使います。この時、曲面に添ってあらかじめR付けをしておくことで全体の變形が少なくて済みます。(全体の變形には要注意!!)

▷右図のa, bは曲げがきつくなるのであらかじめR形状に切出したストリンガーを取付けます。

▷胴枠と胴枠の中間点に補強用のR付きストリンガーを入れます。これはt0.4程度のカンナくずを2枚貼合せたものを使います(大きなRを付けておく) → 基本ストリンガーを渡した後にスキマから入れてピンセット等を使って付けて行きます(かなり根気が必要ですが、これがないと皺貼り時ヤセます)

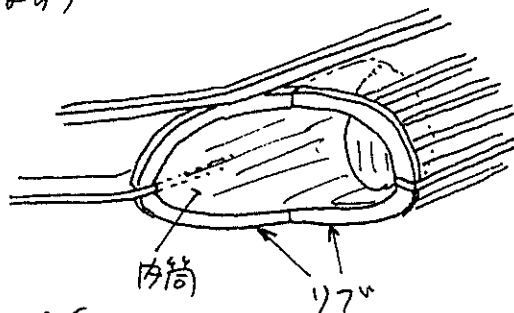


3. エアインテークを作ります。

この機体の一番大きな見せ場です(ピコッと手が止まるのもココですが.....)

▷エアインテーク内筒をt0.4バルサシート又はバルサカンナのくずで作ります。それをインテーク部に接着します。

▷内筒とストリンガーの境になる部分に切出したリブを取付けます。この作業は左右同時に進行させ、イメージがとろろ様に注意して下さい。

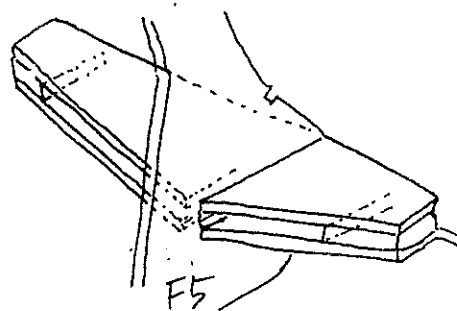


4. 主翼 & 主翼取付部を作ります。

着脱部の受けは右図の様な感じで作ります。

強度は十分なので極力軽い材料で作して下さい。

▷主翼は取付角差が少し付く様な工夫して下さい。



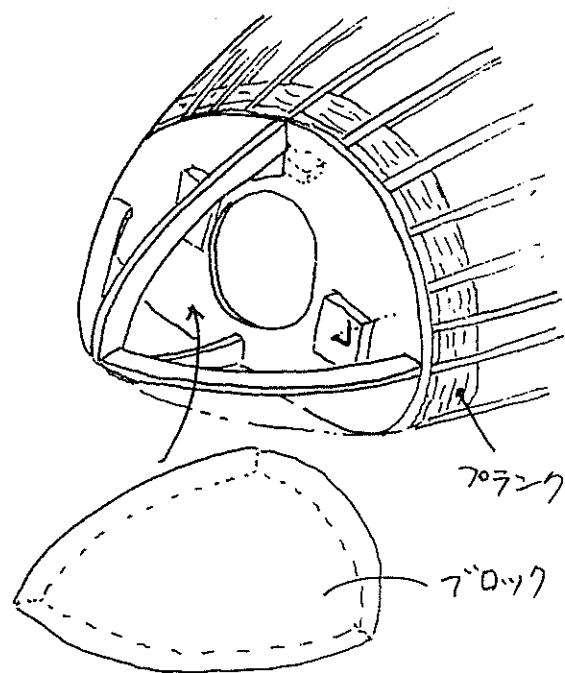
5. ノーズ部

ノーズ部は必ずオモリを積む事になりますので無理に軽く作る必要はありません。

▷F1, F2の接合面はスキマがでやすいのでF1をF2に仮止めした状態でノーズブロックを貼付けます。十文字になる所のリブを目安に4方向からブロックをはめ込んで行きます。

(内側のくり抜きはそんなにガッパる必要なし)

▷F2の端部は必ずフランクして下さい。



6. 水平尾翼(というのだろうか?)

この分厚さは飛行性能に相当のダメージを与えますがこれも全体イメージにかなり効きますのでスケール通りに作ります。

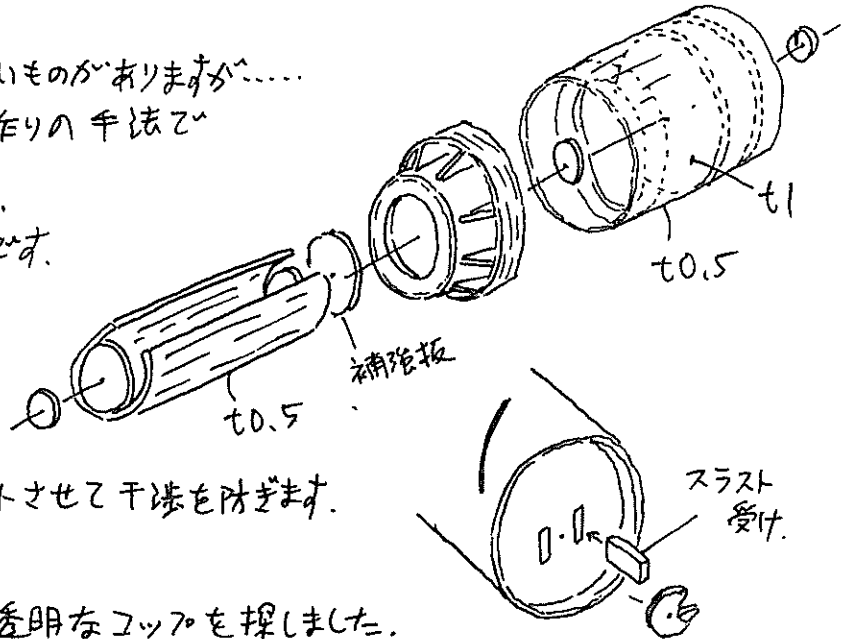
7. フロペラ

この作業が最後に来るとちょっとづいものがありますが……
 ただし以前のダクトファン用インペラのハブ作りの手法で
 やれば比較的簡単です。
 ただし、たおびさスエールヘビーのため、
 この部分は相当な軽量化が必要です。

▷ スラスト受けは必要です (ぶんのテンション
 でつぶれる) 筒を作ったあとでも
 入れる事ができます。

▷ フロペラの位置は右と左でオフセットさせて干渉を防ぎます。
 また右と左でピッチは逆にします。

▷ ブレードは ステルスタイプとするため透明なコップを採りました。
 商品名「エブリデイ」メーカー(株)日本デキシーが軽く透明度が高く
 良い様です。(ただし補強ビード入り)
 t0.2と弱いのので、つけ根付近を2枚合わせにして強化します。
 筒の部分にナイフで切込みを入れ、ブレードを差込んでシムカンで止めます。
 (キチン塗装の前にやってはダメ)



8. 紙貼り — 広い面積を無理して貼らない様に (継ぎ目よりシワの方が圧倒的に
 キタナイ……)
 キリ吹きはアルコールで、張りすぎない様慎重に。
 下地のドーブは必ず塗って下さい (3倍ぐらい)

9. 塗装及びマーキング — フラモを参考に
 エアインテーク内部等は銀紙にサインペン等ライン入れ、スプレーボンドで貼ると
 きれいに仕上がります。

調整・飛行

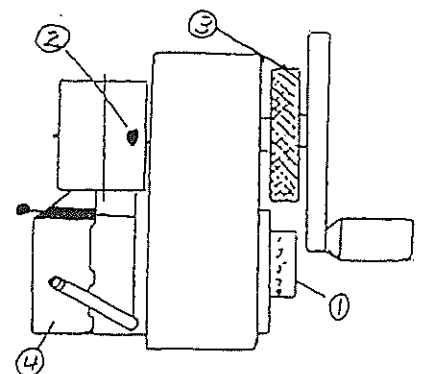
そんな恐ろしいことはまだしてませんが、ブレードを付ける前の紙貼り状態で、本機の重心に
 なる部分に合わせてバラストを積み、滑空テストを行いました。この辺りで取付角差
 を大体決めて下さい。水平がぶ厚いせいか、あまり良いグライドとは言えません。
 今回私の機体はバラスト込みで23g、まあ30gぐらいでできれば20秒ぐらい
 は飛ぶんじゃないかと思っています。

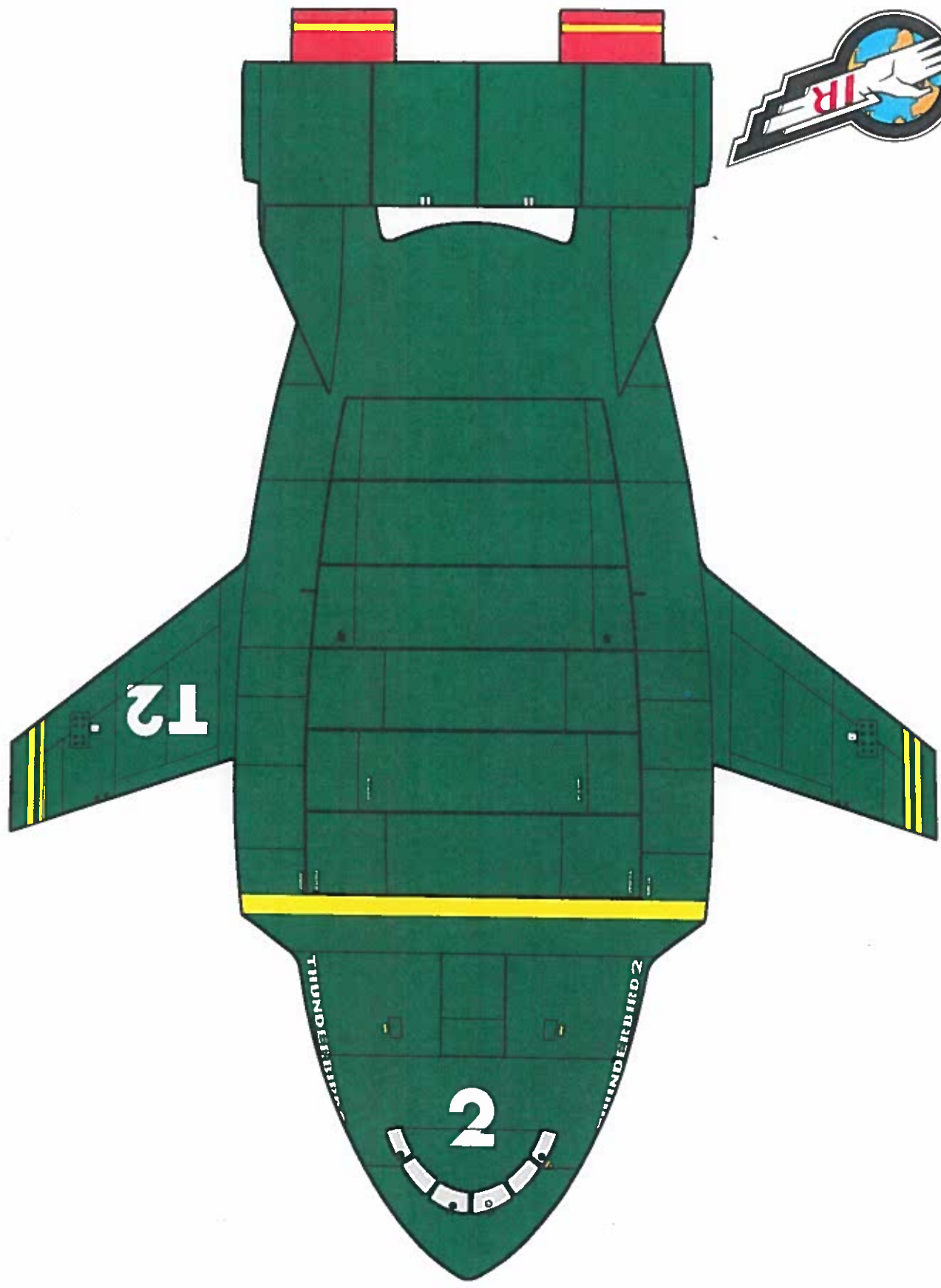
— 応こ水を持って11月23日「やまびこドーム」に行きます。(「サンダーバード」
 テーマソングのテープを持って) お楽しみに~~~~~

ゴム・スリッター情報

ヒョータツ愛好家にとては
 お約束の工具ですが、今回つくばの秋元さんより、紹介
 がありました。下記の住所にドル建て小切手 115,00
 (代金100 + 送料)を送ると約1ヶ月で届くそうです。
 使用感も上々で
 たのこのことです。

ROBERT E. OPPEGARD
 140 E GOLDEN LAKE LANE
 CIRCLE PINES, MINNESOTA 55014
 U.S.A.



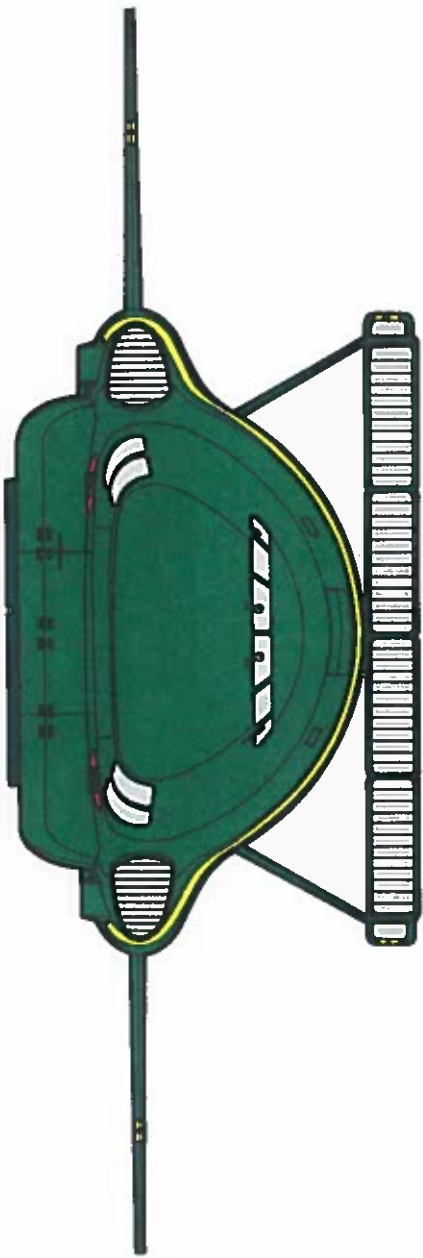


02.1

NAME THUNDERBIRDS "FB2"

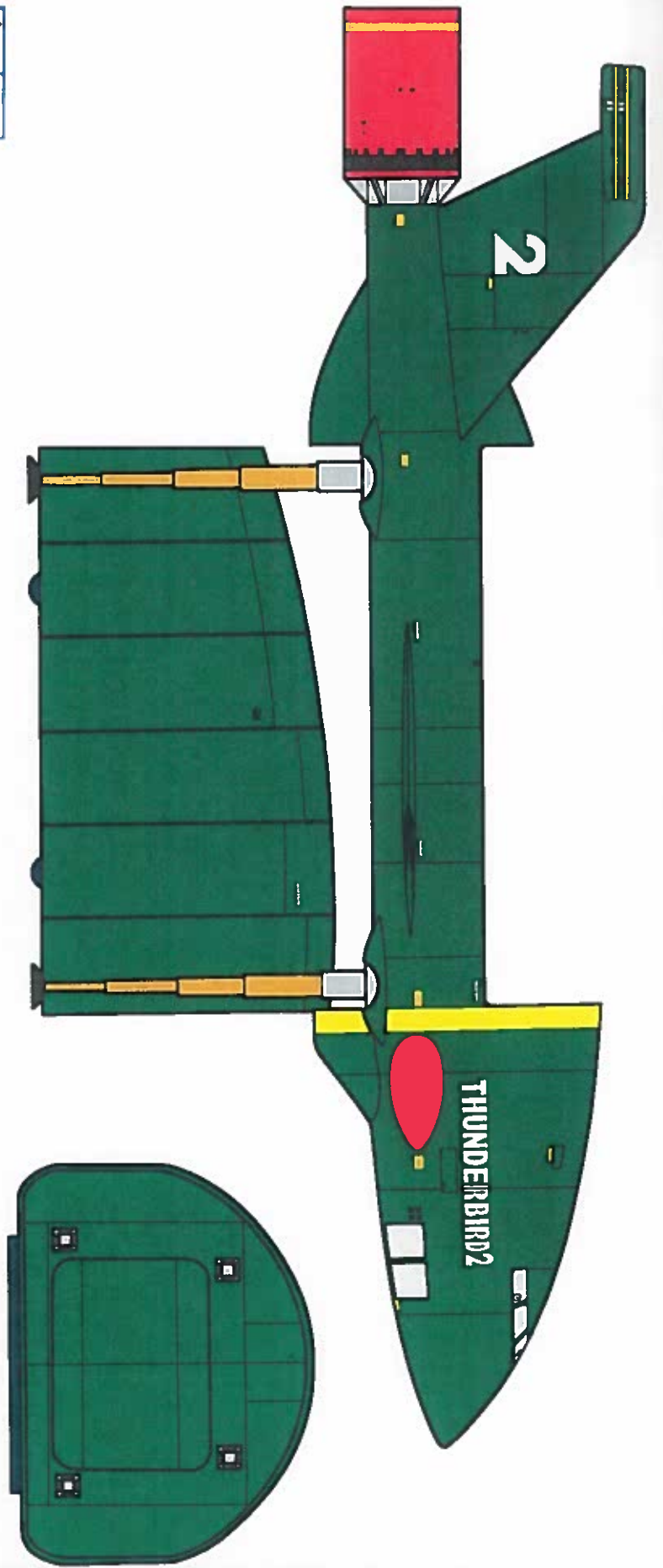
DETAIL PLAN STRAIGHT FORWARD DRAWN

2 FRONT VIEW, 10-DRAWN

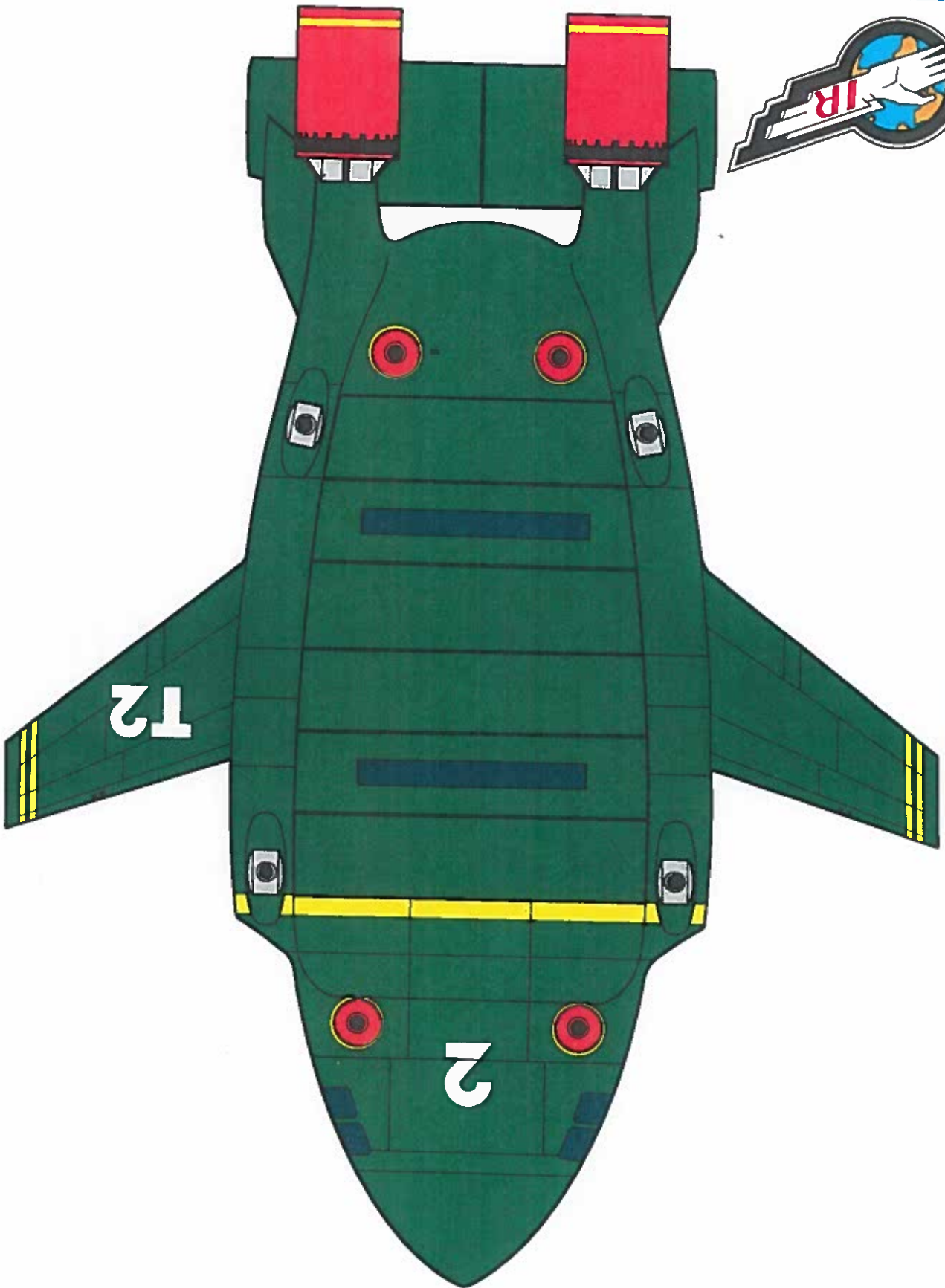


LETTERS FOR PODS

1 2 3 4 5 6

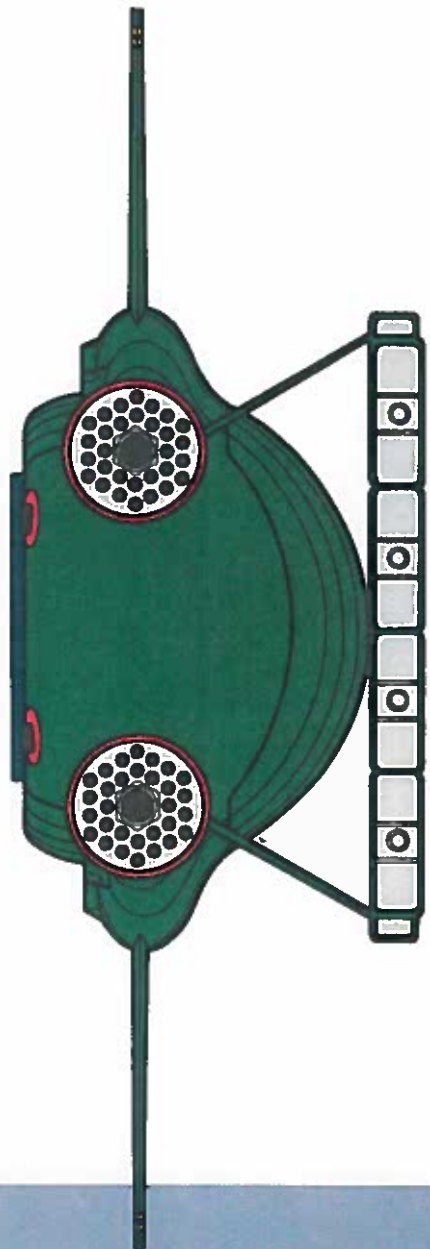
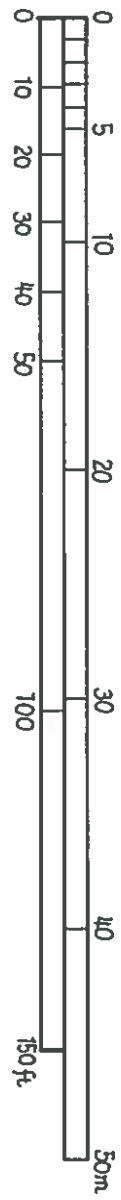
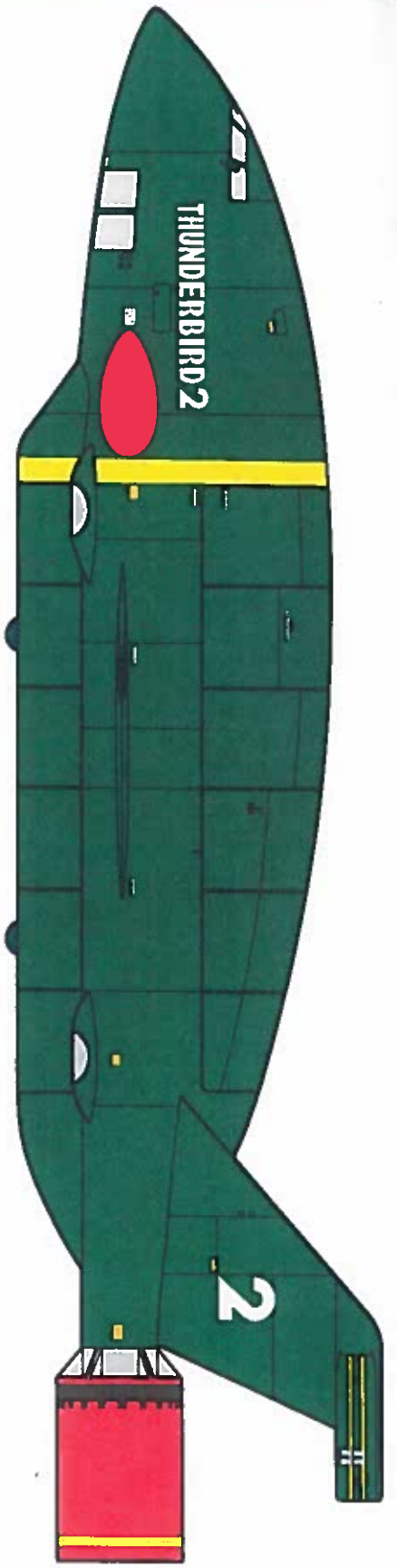


THUNDERBIRDS



02.2

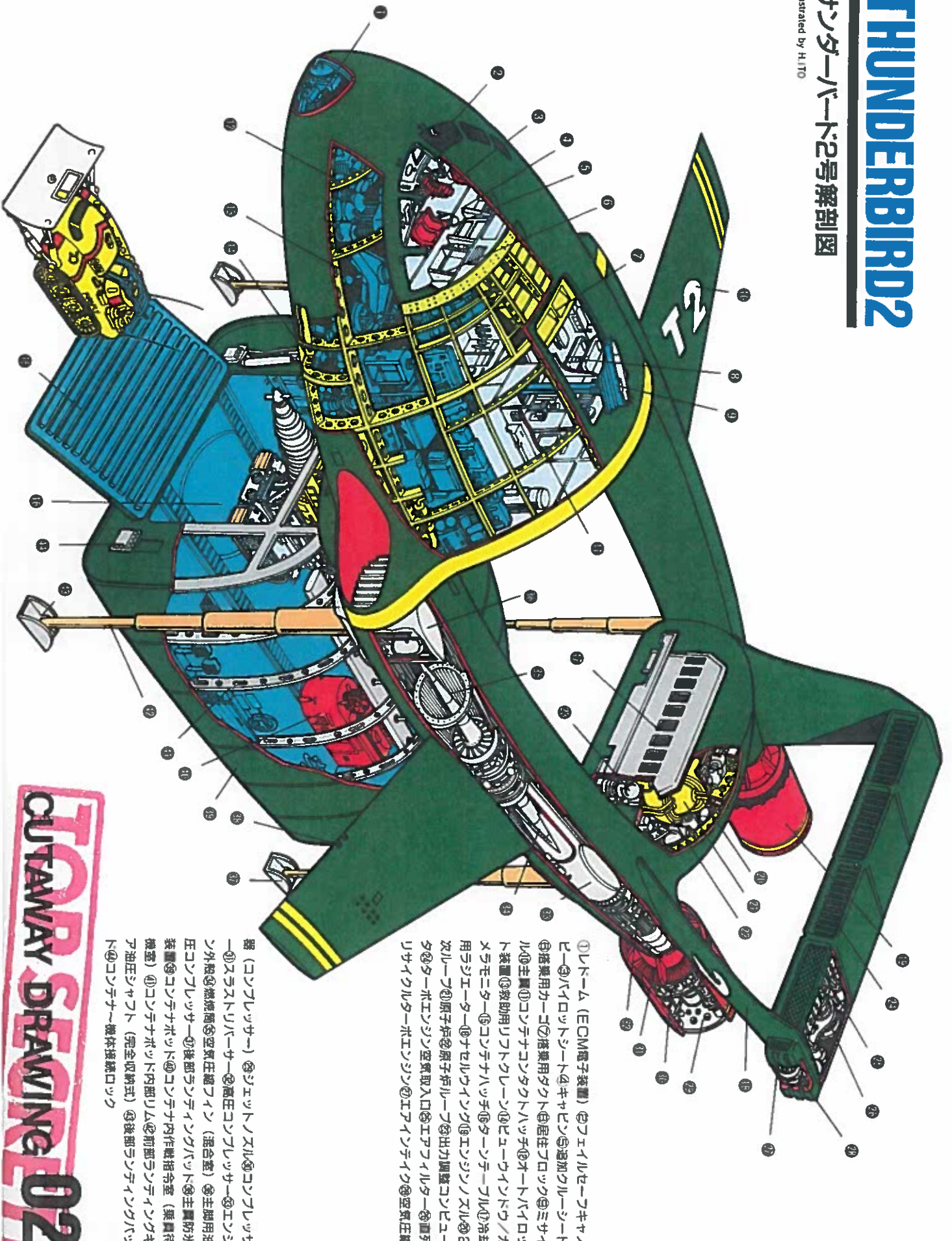
NAME THUNDERBIRDS - FB2
 DETAIL UNDER PLANT DRAWN
 2 REAR BLEW/M. P. 0 - REAR-



THUNDERBIRD2

サンダーバード2号解剖図

Illustrated By H.I.T.O



①レドーム (ECM電子装置) ②フエイルセーフキャノピー ③パイロットシート ④キャビン ⑤追加クルーシート ⑥陸軍用カーゴの搭載用タクト ⑦居住フロック ⑧ミサイル ⑨主翼 ⑩コンテナコンタクトハッチ ⑪オートパイロット装置 ⑫救助用リフトクレーン ⑬ビュウーライントラック ⑭ラモニター ⑮コンテナハッチ ⑯ターミネーター ⑰冷却用ラジエーター ⑱サセルラインク ⑲エンジンノズル ⑳冷却用ラジエーター ㉑原子炉 ㉒原子炉冷却 ㉓出力調整コンピュータ ㉔ターボエンジン空気取入口 ㉕エアフロメータ ㉖並列リサイクルターボエンジン ㉗エアインテイク ㉘空気圧縮

器 (コンプレッサー) ㉙シエットノズル ㉚コンプレッサー ㉛スラストリバーサー ㉜高圧コンプレッサー ㉝エンジン外殻 ㉞燃焼筒 ㉟空気圧縮メイン (混合室) ㊱主翼用油圧コンプレッサー ㊲後部ランディングバット ㊳主翼防水装置 ㊴コンテナボット ㊵コンテナ内作機指令室 (乗員待機室) ㊶コンテナボット内部リム ㊷前部ランディングギア油圧シヤフト (完全収納式) ㊸後部ランディングバット ㊹コンテナー機体接続ロック

TOP SECRET
CUTAWAY DRAWING 02

**T
H
U
N
D
E
R

B
I
R
D**

1 2 3 4 5

INTERNATIONAL RESCUE

THUNDERBIRD

THUNDERBIRD

THUNDERBIRD